

SCHOOL

／ 学び ／ 考える ／ 対話する ／



まちと文化とアート为学校 全9回

アートの視点を切り口にさまざまな領域にわたる現代社会の諸問題について考えていきます。文化、芸術、福祉、教育、まちづくりなどについて、新たな発想や視点から考えていきたい方に最適です。

時間 ▶ 14:00~16:00

会場 ▶ 愛媛大学 城北キャンパス総合研究棟2 (3階・ラーニングcommons2)

定員 ▶ 30名

2019年度テーマ

「まちと文化」

まちを舞台にしたアートプロジェクトの事例や方法論から自分たちが暮らす「まち」を時間軸から捉えなおし、現在の生活と未来の生活について考えていきます。

「被災と文化」

被災地における災厄の悲しみから日常の営みを取り戻していく事例を通じて、生活と表現が密接な関係にあることを考えていきます。

「表現と文化」

例えば表現によって生活のなかで抱える「生きづらさ」からかわれている人たちがいます。人間の営みと表現の関係について、福祉の現場や美術館等の事例を通して考えていきます。



SCHEDULE

- 6月22日(土) まちと文化I~まちとアートプロジェクト ——— 土谷 享 (美術家、KOSUGE1-16)
- 7月20日(土) まちと文化II~まちを再発見する方法 ——— 尾崎 信 (松山アーバンデザインセンター・ディレクター)
- 9月28日(土) 被災と文化I~かなしみを綴ること ——— 高森 順子 (愛知淑徳大学
コミュニティ・コラボレーションセンター助教)
- 10月19日(土) 被災と文化II~文化に何ができるか、
震災後の東北で始まっていること ——— 佐藤 李青 (アーツカウンシル東京・プログラムオフィサー)
- 11月16日(土) 表現と文化I~福祉でもないしアートでもない — 山森 達也 (アーツカウンシルみやざき・プログラムオフィサー)
- 12月7日(土) 表現と文化II~生きづらさと向き合うアート ——— 今井 朋 (アーツ前橋・学芸員)
- 1月25日(土) 表現と文化III~学びの場を考える ——— 豊島 吾一 (今治ホホホ座)
- 2月22日(土) 表現と文化IV~対話を紡ぐダンス ——— 砂連尾 理 (振付家、ダンサー)
- 2月23日(日) 番外編表現ワークショップ ——— 多田 淳之介 (演出家、東京デスロック主宰)